

日本の医療に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. 日本の人口当たりの医師数は OECD 各国の平均の 2 倍以上であり、少子化を背景とした産科・小児科医の余剰や、病院・診療所の過当競争による経営状況の悪化などが問題となっている。
2. ジェネリック医薬品は、特許で保護されていることで独占的に供給される医薬品であり、一般に価格が非常に高いため、患者の負担額が多く、医療保険財政を圧迫する原因ともなっている。
3. 様々な細胞に分化し得る iPS 細胞が再生医療などの分野で注目されているが、iPS 細胞は人間の受精卵から作られるため、倫理上・法律上の制約から日本では研究が行われていない。
4. 新型インフルエンザが 2009 年に世界各地で流行したが、日本では、ワクチン接種や海外から帰国した感染者の隔離などの対策を行ったことで、感染者数は数百人にとどまり、国内での感染拡大の阻止に成功した。
5. 臓器移植のための脳死判定・臓器摘出に関して、法改正がなされたことにより、それまでは国内で行うことができなかった 15 歳未満の者からの臓器提供による移植も国内で行うことが可能となった。

正答 5

被子植物類の生殖に該当する記述のみをすべて選んでいるのはどれか。

- ア. 配偶子どうしの接合により新しい個体ができる。
- イ. 配偶子による有性生殖のほかに、孢子による無性生殖を行う。
- ウ. 配偶子がつくられる際に、染色体数が半減する減数分裂が起こる。
- エ. 前葉体の造卵器と造精器の中で卵と精子がつくられ、水を媒体として受精する。
- オ. 重複受精によって、胚と胚乳がつくられる。

- 1. ア, エ
- 2. イ, ウ
- 3. ウ, エ
- 4. ア, ウ, オ
- 5. イ, エ, オ

正答 4

A～Eの互いに年齢の異なる5人がいる。年齢の差は、AとBが4歳、BとCが3歳、CとDが7歳、BとEが10歳である。Eが最も年上であり、Bよりも年上の人はいないことが分かっているとき、確実に言えるのはどれか。

1. Aよりも8歳年上の人はいない。
2. Bよりも10歳年下の人はいない。
3. Cよりも1歳年下の人はいない。
4. Dよりも14歳年上の人はいない。
5. Eよりも6歳年下の人はいない。

正答 5